

- ◇派遣先 : アメリカ合衆国 ワシントン DC 近郊 (予定)
- ◇期間 : 2015 年 3 月 21 日 (土) ~ 2015 年 4 月 4 日 (土)
- ◇募集対象 : 震災発生時に福島県・岩手県・宮城県に在住しており応募時点で中学 3 年生から高校 3 年生の者
- ◇人数 : 15 名
- ◇費用 : 全額支給
- ◇締切 : 2014 年 11 月 17 日 (月)
- ◇実施団体 : 特定非営利活動法人 文際交流協会 (BIEE)

■ TOMODACHI 2015 春休みホームステイプログラムについて

2013 年春に実施した TOMODACHI2013 春休みホームステイプログラムに続き、当プログラムは、「TOMODACHI イニシアチブ」の一環として、在日米国大使館が全面的に資金援助し、「TOMODACHI 世代」の育成の一助となるべく、震災発生時に福島県、宮城県、岩手県に在住していた者で、応募時点で中学 3 年生から高校 3 年生の者を対象として特定非営利活動法人文際交流協会が実施するものです。

参加者は、春休みの 2 週間、アメリカのワシントン DC 近郊 (予定) ホストファミリーの一員として日常生活を共にしながら、高校生活はじめ、さまざまな異文化交流活動に参加します。このプログラムを通し、参加者は、異なる価値観の存在に気づき、文化が異なっても人と人がかかわることにより生まれる相互理解を体感するのみでなく、英語でコミュニケーションする楽しさを学ぶことも大きな収穫となり、また、ホストファミリーや地域の人々には、日本からの高校生を受け入れることにより、日本や日本人に対する関心と理解を深めてもらえることと確信しています。



■プログラムの概要

- ◇期間：2015年3月21日（土）～2015年4月4日（土）
※アメリカ滞在期間は3月22日（日）～4月2日（木）の12日間
- ◇人数：15名
※成人1名が引率します
- ◇費用：全額支給
※自宅から仙台空港までの往復交通費、パスポート取得料、健康診断・予防接種にかかる費用（必須）、滞在中の小遣い（500米ドル程度）は参加者個人の負担となります。
- ◇滞在先：ワシントン DC 近郊（予定）のホストファミリー宅
- ◇内容：ホームステイ体験を中心とした異文化体験アクティビティを通し、交流を深めるプログラムです。高校訪問や、週末には小旅行や大学キャンパス訪問も企画されています。
- ◇スケジュール：

月日		概要	滞在先
3月21日	土	仙台空港集合、成田空港へ移動 成田空港近郊ホテルにて出発前オリエンテーション	成田空港近郊ホテル
3月22日	日	成田空港出発／アメリカ到着	ホームステイ
3月22日 ～ 4月2日	日 ～ 木	TOMODACHI 2015 Spring Homestay Program	
4月2日	木	アメリカ出発	機内泊
4月3日	金	成田空港着／体験報告会	成田空港近郊ホテル
4月4日	土	成田空港より仙台空港へ移動／解散	

■応募について

◇応募資格

以下のすべての条件を満たす方

- 1) 震災発生時に福島県、宮城県、岩手県に在住していた者で、応募時点で中学3年生から高校3年生であること
- 2) 本人、親権者がプログラムの趣旨を理解していること
- 3) 何事にも積極的に取り組む意欲と、異文化の環境に適応できる柔軟性と協調性があること
- 4) 英語でコミュニケーションをとることに興味があること
- 5) 2012年～2014年のTOMODACHIプログラムに参加したことのない者

◇応募書類

- 1-1) TOMODACHI 2015 春休みホームステイプログラム応募用紙（計1頁）
- 1-2) プログラム参加調査票（日本語／計2頁）
- 1-3) ホストファミリーへの手紙（英文／計1頁）
※【フォーム PDF をダウンロードしてください】
- 2) 直近1年間の成績が証明できるもの

◇ 留意事項 ◇

・提出された個人情報は、その取扱いについて細心の注意を払い、プログラム選考に限り使用いたします
・出願書類は返却しません

◇応募締切

2014年11月17日（月）必着

送付先：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-10-12 牛込旧館ビル1階
特定非営利活動法人 文際交流協会 TOMODACHI P 係
電話：03（5925）0346

■ 応募から参加決定まで

◇ 応募から参加決定まで

応募者

BIEE

2014年11月17日締切

プログラム応募書類送付

- 1) プログラム応募用紙
- 2) プログラム参加調査票
- 3) ホストファミリーへの手紙（英文）
- 4) 直近1年間の成績が証明できるもの

第1次審査

2014年11月下旬

第1次審査結果送付

合格者には、第2次審査（面接）の日程、会場等をご案内いたします

2014年12月上旬

第2次審査

- 1) 日本語と英語による面接
- 2) 保護者面接

2014年12月中旬

第2次審査結果送付

第2次（最終）合格者には、参加者・保護者参加同意書、米国受入団体願書等をお送りいたします。

2014年12月下旬～2015年1

英文願書・健康診断書等提出

2015年2月中旬

ホストファミリー情報送付

2015年2月中旬

渡航手続きに関する案内送



旅行会社

■実施団体

●日本側：特定非営利活動法人 文際交流協会（BIEE）

特定非営利活動法人文際交流協会は、1983年より高校生交換留学プログラムを実施、2000年4月から、東京都より認証を受けた特定非営利活動法人（NPO）として高校生を対象とした非営利の交流プログラムを実施しています。

「文際」とは、英語で Intercultural の意味。異なる文化に属する人と人が、日ごろからコミュニケーションを積み重ねて、お互いの文化を理解し合い、相互の利益を考えた豊かな“共生”を目指すことは、平和な世界を築く基盤として、ますます重要になってきています。同時に、これまで異文化への“閉鎖性”や“排他性”をしばしば指摘され、時に厳しい批判を受けることもあったわが国社会の土壌を改革し、より望ましい“開かれた市民社会”を実現することも重要な課題となっています。

このような認識のもとに、明日の社会を担う若い世代を、異文化への深い理解に基づいて行動できる人材、望ましい社会変革をもたらす“触媒”すなわちカタリスト（catalyst）としていかに育ててゆくかは、わが国の教育にとって課題となっています。

特定非営利活動法人文際交流協会／BIEEは、高校生プログラムを中心とした活動を遂行し、21世紀の国際社会で活躍できる、国という単位ではなく文化という単位でものを考え、異文化の橋渡しをする文際人の育成とそれらを通じた平和への貢献を行っていきたいと考えます。

■米国側：Foreign Links Around the Globe（F.L.A.G.）

F.L.A.G.は1989年、交換留学生としてブラジルより渡米した元留学生とそのホストマザーによって設立され、ミシガン州にその本部を置く非営利教育交流団体です。「少人数制」と「参加者一人一人に対するケア」を特色として、毎年約200名の長期高校交換留学生と約200名の短期生を受け入れています。

F.L.A.G.はCSJET（国際教育旅行基準評議会）の推薦団体名簿に掲載され、J-1ビザ（交換留学ビザ）の留学資格証明書（DS-2019）発行権を米務省から与えられています。

■Q&A

Q 1: 滞在期間を延長することはできますか？

A) いいえ、できません。出発日も帰国日もグループでの移動となります。

Q 2: 病気、事故、怪我をした時の治療費は？

A) 参加者全員、海外旅行傷害保険に加入して渡航します。
通常の病気、怪我等の治療はこの保険でカバーされます。

Q 3: 滞在中、日本人引率者は同行しますか？

A) はい、滞在中を通して1名の引率者が同行します。

Q 4: 緊急時のサポートは？

A) 滞在地域では、受入団体のコーディネーターが日本人引率者と連携を取りながら24時間、参加者をサポートします。

Q 5: 健康診断と予防接種は必要ですか？

A) 滞在先で現地の高校での活動も予定されており、高校通学に必要な健康診断ならびに予防接種を受けている必要があります。

Q 6: お小遣いはどのくらい必要ですか？

A) 個人的な費用（個人で購入するスナック、ドリンク、お土産等）として500ドル程度あれば十分でしょう。

■ お問い合わせ

特定非営利活動法人 文際交流協会 (BIEE)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-10-12 牛込旧館ビル 1 階

Tel: 03-5925-0346

e-mail: tomodachi@bunsai.net

